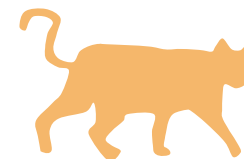


長野県高齢者虐待対応現任者標準研修

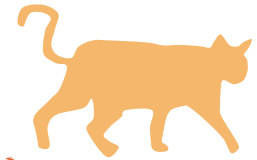
高齢者虐待対応と権利擁護

本科目の講義ポイント



- × 権利擁護の理念を活かした虐待対応
- × 高齢者虐待を未然に防止する
- × 虐待が起こった場合の早期発見体制

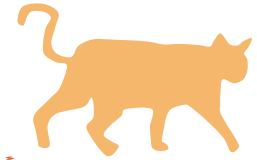
高齢者虐待防止の目標 (厚-P18)



- × 「虐待」＝「権利侵害」。これ以上権利を侵害されないように守る
- × 「尊厳を保持」しながら、「安定した生活」を送ることができる支援
- × 「権利擁護」を理念とする切れ目ない支援



個人の尊厳とは

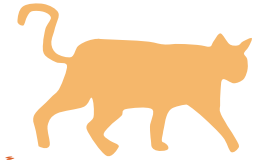


- × すべての価値の根源を個人にあるとみる
個人主義思想の本質的内容をなすもので、**個人が生れながらにして平等で、国家権力をもってしても侵すことのできない固有の権利と価値を有しているという認識**

ブリタニカ国際大百科事典より



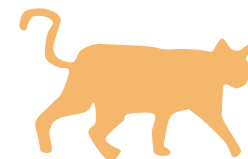
憲法に定められた権利



- × 日本国憲法第25条 「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」
- × 日本国憲法第13条 「すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする」



人権と権利擁護活動



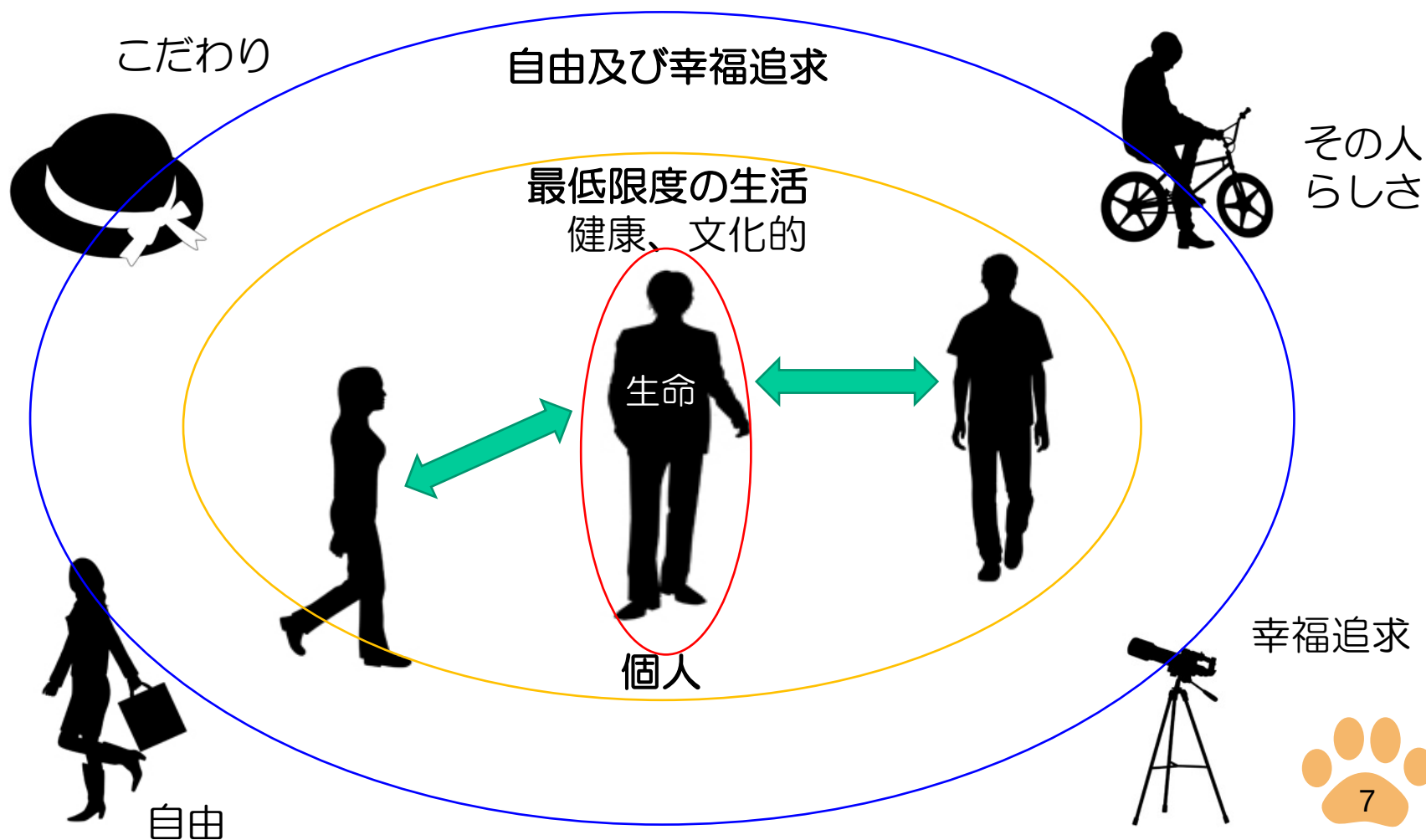
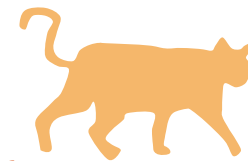
- × 人権:「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」と定義

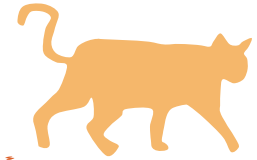
(人権擁護推進審議会答申(平成11年))

- × 権利擁護:「なんらかの事情によって自分の思いや考えを、他の人に伝えることができず(あるいは伝え方が弱いため)、その結果、日常の社会生活において不利な立場に置かれている人たち(場合によれば動物や環境改善)を支援する活動」

(権利擁護がわかる意思決定支援 ミネルヴァ書房(2018年))

人権の「幅」を共通化する

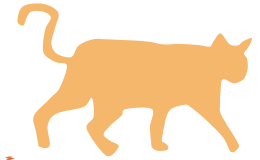




ミニ演習

お隣同士で「自分はこう考える」と意見交換をしてください。
結論は出さなくて結構です。

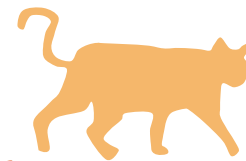
これって虐待？虐待じゃない？



- × Aさん(80歳)の娘は、Aさんの年金が自分の口座に入るようにして、「葬式代のためだ」と言っていた。Aさんが「デイに行きたい」というと、「そんなお金はない」とつつぱねた
- × Dさんは、近隣の視覚障害者の買い物代行していたが、いつも依頼者に内緒でピンハネしていた

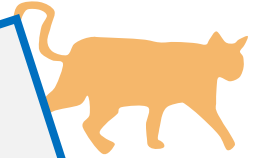


これって虐待？虐待じゃない？



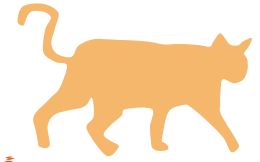
- × 施設職員は、認知症のFさんに対して、毎日のように「言う事を聞かないと、犬をけしかけるぞ！」とおどし、慌てふためく様子を面白がっていた。Fさんは子どもの頃に犬にかまれて怪我を負った体験があった
- × 重度認知症のIさんの娘は、Iさんが悪い事をした場合に言葉で言ってもわからないので、お尻を叩く事で教えていると話している

入所者に無断で不在者投票 老人施設長らを逮捕 姫路



- × 衆院選で施設入所者らに無断で投票用紙を配り、公職選挙法違反で施設長ら3人を逮捕。入所者らに無断で投票した疑い。
- × 逮捕された施設長ら3人は、入所者らに無断で投票した疑い。入所者らに無断で投票した疑い。

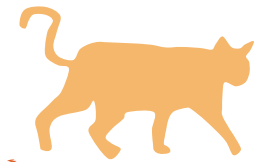
虐待ではないが
高齢者の権利を侵害



虐待対応の「基本的な視点」

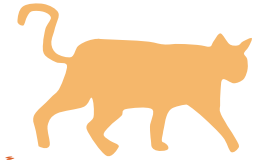
厚-P18～

高齢者自身の意思の尊重



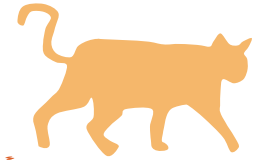
- × 安全確保を優先(参照) 厚-P20
- × かかわりの事例から・・・
 - ・暴力があたりまえの環境
 - ・エスカレートする恐怖
 - ・自責の念にかられている高齢者
 - ・意思表示できる環境かどうか

養護者支援と利害対立



- × 今まで何とかバランスを保っていた世帯が維持できなくなっている事例も多い。(高齢者の年金で生活する養護者等)
- × 世帯内で自分で権利擁護できない人から支援
- × 高齢者と養護者、別々なチームで支援を行う必要がある

虐待の発生要因と関連課題



A 知っていてやっている

- ①高齢者は虐待されてもいい・仕方ない
- ②いけないとわかっているが虐待する

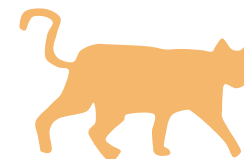
(虐待せずにやろうとおもえばできる)

B 知らなくてやっている

- ①その行為が虐待ではないと思っている
- ②そうするほかはないと思っている

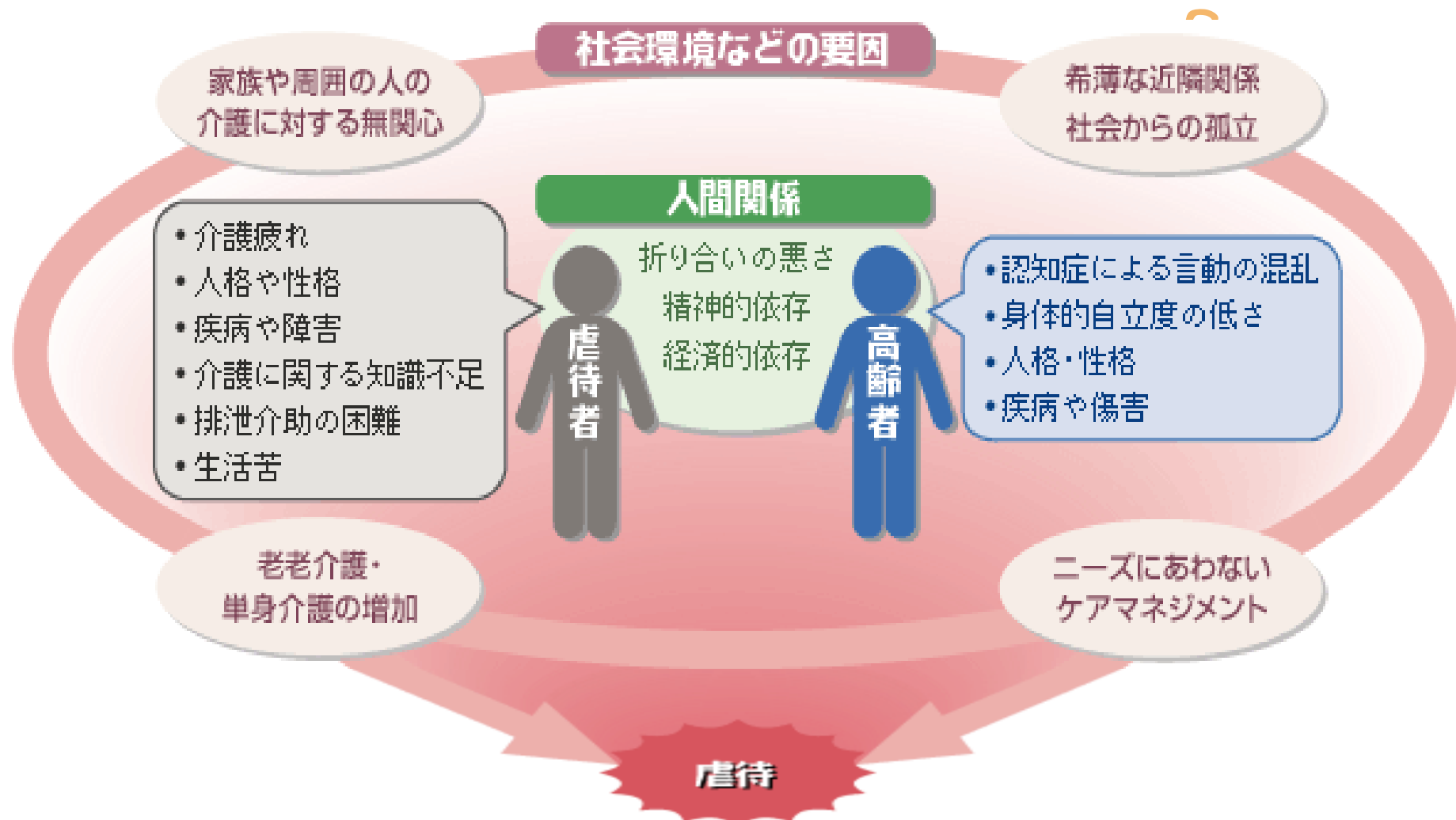
(例:たたかないと静かにさせられない)

虐待の構造的要因



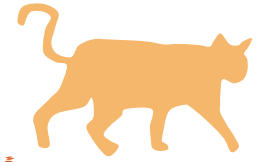
- ① 高齢者本人に関する事柄
(障害特性、生活の場 等)
- ② 養護者に関する事柄
(疾病・障害、家族関係、経済的要因 等)
- ③ 支援者(養護者以外)に関する事柄
(事業所の状況、個人的要因 等)
- ④ 社会的要因
(偏見・差別、社会資源 等)

【参考】高齢者虐待の背景



出典: 東京都保健福祉局

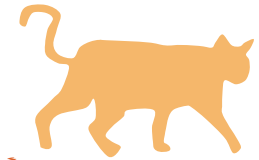
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/zaishien/gyakutai/haikai/>



虐待対応の「留意事項」

厚-P20～

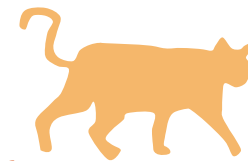
高齢者の安全確保を優先



- × 高齢者虐待対応においては「自己決定の尊重」よりも「高齢者の安全・安心の確保」を優先させることがある
- × この専門的判断は、特に、高齢者の生命や身体、財産が危機的状況に置かれている場合に、市町村の責任により行われる
- × 必ず明確な根拠が必要＝記録の重要性

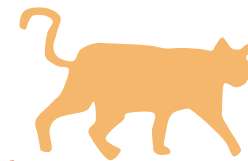


常に迅速な対応を意識する



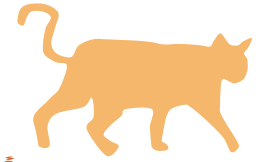
- × 高齢者に対する最も重大な**権利侵害**
- × 必ず、早急な終結が必要
- × 後述する早期発見の体制づくりへ

適切に権限を行使する



- × 利用者の依頼や契約に基づく支援と異なり、虐待を受けている高齢者の生命や身体、財産を保護し、安全で安心な生活を再構築させるための強い介入を行う
- × 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援に関する法律
- × 老人福祉法上の措置 等

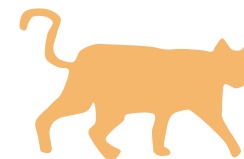




組織体制について

厚-P23～

ネットワークの構築(厚-P13)



× 市町村

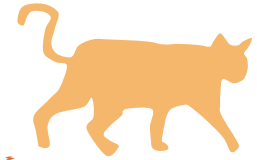
高齢者虐待対応ネットワークを構築
(関係機関・団体と連携協力体制を整備)

× 地域包括支援センター

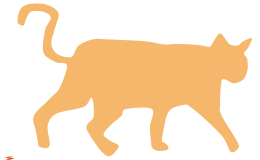
虐待対応協力者として、市町村に協力して
体制整備を進める



事務の委託について



- × 包括との業務分担の際には、どの業務をどこが担うのか明確にしておく
- × 「立ち入り調査」「虐待の判断」「一時的な保護などの措置」は市町村が行う

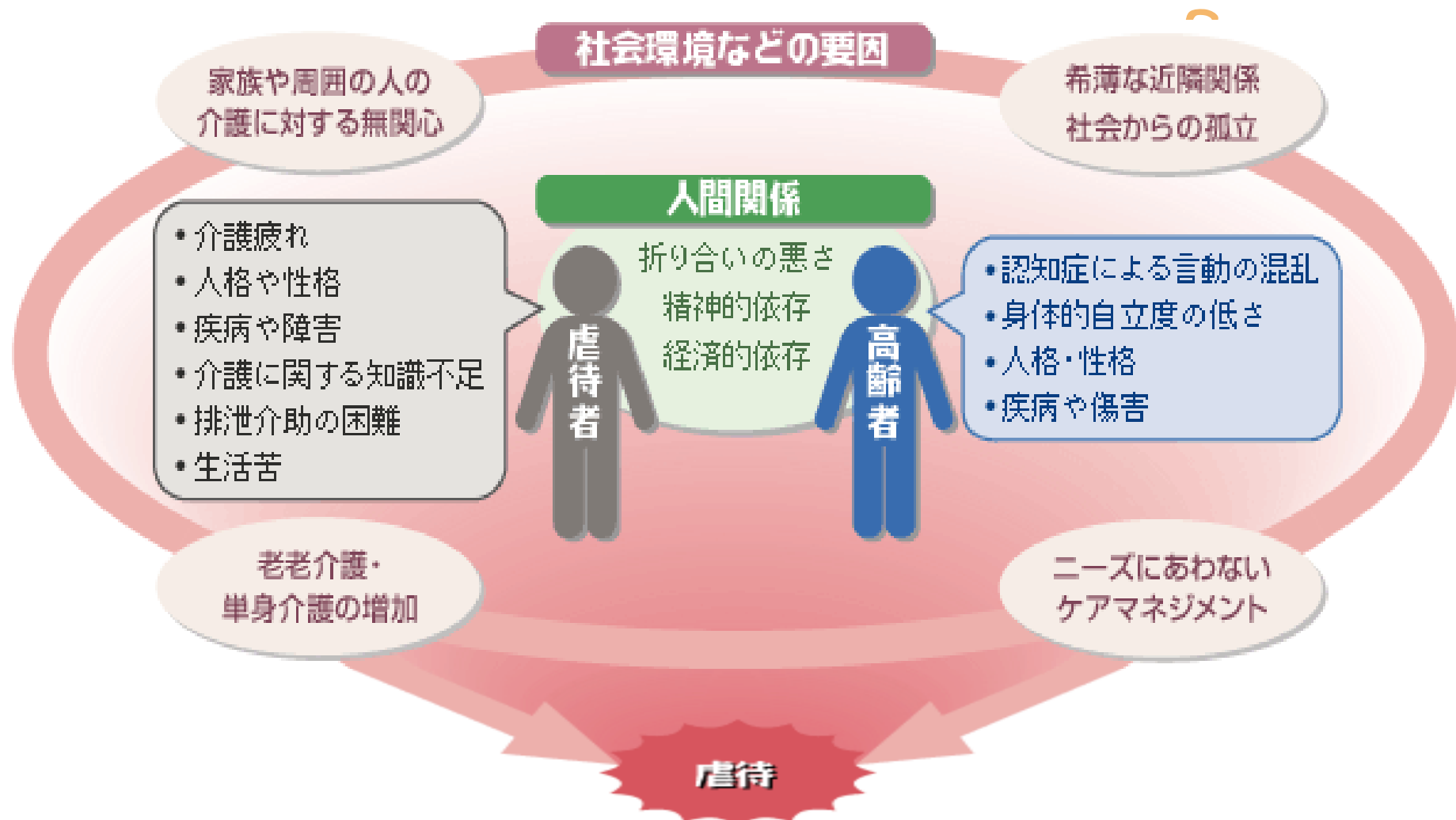


高齢者虐待の未然防止

厚-P25～



【参考】高齢者虐待の背景

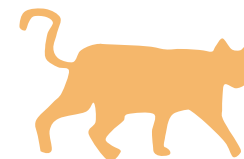


出典: 東京都保健福祉局

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo26.jp/zaishien/gyakutai/haikai/>

虐待の発生要因

(平成29年度調査より)



× 養護者の虐待要因(ワースト5)

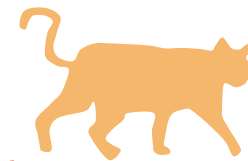
- ①介護の疲れ・ストレス 24.2%
- ②障害・疾病 21.8%
- ③人間関係 14.2%
- ④性格や人格(に基づく行動) 11.5%

× 虐待を受けた高齢者状況

76%が女性、75歳～84歳が約45%
日常生活自立度Ⅱ以上71%



虐待の発生要因と 関連する課題への支援

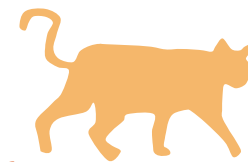


- × 養護者が、虐待の発生要因となる障害や疾患、介護負担や生活上の課題を抱えており、必要な支援に結びついていないような場合には、虐待を解消させるために養護者支援に取り組む。

⇒虐待の未然防止につながる



養護者支援のためのポイント



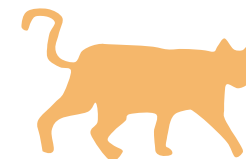
× 虐待する養護者は自分では気づきにくい
(よかれと思って接している場合も)

× 誰にでも起こりうる
(親の介護は皆初めて、過去の関係性もある)

× 身内であるつらさ、身内だからこそ
高齢者：身内の恥は話せない
養護者：私が跡取りだから責任が



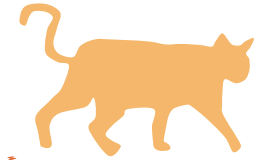
数字から見る養護者の実態



- × 養護者との世帯関係 「同居」が87.1%
- × 世帯構成
 - 「未婚の子と同一世帯」が35.7%
 - 「夫婦のみ世帯」22.0%
- × 養護者の続柄
 - 「息子」40.3%
 - 「夫」21.1%
 - 「娘」17.4%

出典：平成29年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果 「厚生労働省 老健局高齢者支援課」

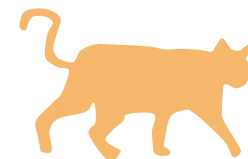




高齢者虐待の早期発見のため の取組

厚-P27～

通報の義務と通報者の保護



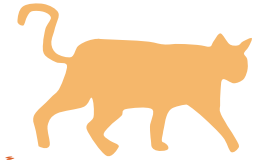
× 虐待防止法第7条

通報には明確な根拠はなくて良い「思われる」で通報ができる

× 虐待防止法第9条

通報等を受理した職員は、通報等をした者を特定されるものを漏らしてはならない

最後に(もう一度)



× 高齢者虐待対応は・・・

高齢者が尊厳ある生活を維持していくために、現に起きている虐待を解消させ、安全で安心な環境の下での生活を再構築し、高齢者の権利擁護を実現させることを目的に行なうもの

⇒終結を念頭に取組を

